

- 11 此の魚何ぞ此に在らん
- 12 人は善いふ汝が新名なりと
- 13 舟を吞むは我が口に非ず
- 14 浪を吐くは我が聲に非ず
- 15 哀しい哉放逐せらるる者
- 16 蹉跎さたとして精霊を喪うしなふ

通釈

- 1 黄紙に書かれた開元の詔書を読んだ。
- 2 延喜という語の通り、うれしいことが一般人民にも広く及ぶことであろう。
- 3 改元が行われたのは、一つには辛酉の歳にあたり、革命が起きる恐れがあるためであり
- 4 あと一つは昨年（昌泰三年）老人星が現れたためである。
- 5 大赦令が發布されて、死罪以下の罪を、
- 6 洗いすぎ天下が清らかになった。
- 7 夫役を省きて壮者の力を余裕あらしめ、
- 8 高齢者に物を賜って救済がなされた。
- 9 天皇のはてしなく広大な慈悲の海に
- 10 一頭の鯨鯢が横たわる（と詔書に見える。）
（詳細が詔書の中に記されている）